

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月31日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立男女共同参画推進センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画の実現 (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1)名称 相模原市立男女共同参画推進センター(愛称:ソレイユさがみ) (2)所在地 相模原市緑区橋本6丁目2番1号(シティ・プラザはしもと内) (3)施設規模 シティ・プラザはしもと 約5,090㎡、うち男女共同参画推進センター 1,509㎡ (4)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課の名称	市民局 人権・男女共同参画課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	86,669	81,267	86,204	86,809	81,618	83,884	
利用料金合計(円)	7,866,610	7,734,385	8,102,667	8,640,585	8,603,537	9,033,817	
貸館率(%)	76.4	74.0	77.1	77.4	75.2	77.0	
講座等参加者数(人)	11,777	11,527	11,201	10,046	10,420	13,171	
講座等男性参加者数(人)	3,406	3,063	2,879	2,400	2,906	3,230	
登録団体数(団体)	106	95	95	91	96	96	

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	施設の貸館率(単位:%)
指標式と指標の説明	施設の利用回数/施設の利用可能回数×100 施設の貸館率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への男女共同参画意識を推進するもの。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(単位)			74.0	75.0	76.0	77.0	78.0
実績値(単位)	76.4	74	77.1	77.4	75.2	77.0	
達成度(%)			104.2%	103.2%	98.9%	100.0%	0.0%

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

指標名(単位)	講座等の男性参加率(単位:%)
指標式と指標の説明	講座等の男性参加者数(人) / 講座等の参加者数(人) × 100 男女共同参画の理念を職場や家庭、地域に浸透させることを目的として、男女共同参画推進センター実施講座における男性の参加率を指標とするもの。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(単位)	24.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
実績値(単位)	28.9	26.6	25.7	23.9	27.9	24.5	
達成度(%)	120.4%	106.4%	98.8%	88.5%	99.6%	84.5%	0.0%

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	B	・成果指標については、施設の貸館率は目標値を達成した。 ・講座等の男性参加率については目標値を下回る結果となったが、企画や開催時間など工夫したことにより、講座参加者数は前年度より増加した。今後も男性の参加者数増加に向け、さらなる努力を要する。
事業・業務の履行状況	A	・新規事業として、LGBT等の性的マイノリティに関する啓発講座として、性的マイノリティ当事者の方を講師とした啓発講座・ワークショップを実施し、延べ97人の参加があった。 ・意識啓発事業として、小中学校に出向いての啓発講座や、親子を対象とした講座、女性の起業・就労支援講座など、幅広い視点での事業展開ができている。
利用者満足度の向上度	A	・事業参加者アンケートの結果は、施設や講座環境、講師、スタッフ対応、全体評価ともに参加者から高い満足度を得ており、目標達成度は104.9%となっている。
財務状況の適正性	A	・団体の経営規模は小さいものの、流動比率198.7%、自己資本比率49.7%と法人全体の経営状況は健全といえる。 ・事業活動収入の86%を指定管理料が占め、経営における指定管理料への依存度の高さ、正味財産が237万円と指定管理料を請け負う上では資力が十分とはいえない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「B」もしくは「C」つき、「D」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「D」と「C」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「D」と「C」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S:評価対象年度の決算における翌年度への繰越金がプラスかつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
- D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

客観的評価として以上の基準によりS・A・B・Cを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月より、施設使用料の見直し(平均で約6%の値上げ)があったものの、平成29年度においては前年度を上回る貸館率を記録した。これは、指定管理者による多様な事業展開や、各種媒体を活用した積極的な施設周知の結果によるものと評価できる。 ・成果指標「講座等の男性参加率」について目標値を下回った点に関しては、女性の就労支援講座等、参加者を女性限定とした講座を28回(平成28年度は15回)開催するなど、女性の就労支援事業に注力した結果とも考えられる。また、男女共同参画に関する新たなテーマ(LGBT)に関する啓発講座の開催に至ったことは評価に値する。 ・アンケートにおける利用者満足度からも、施設運営は適切に行われているものと評価する。今後も、男女共同参画の拠点施設として、より効果的な事業実施、施設運営に取り組んでいただきたい。
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年7月31日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「講座等の男性参加率」については、目標値の達成には至らなかったものの、講座の男性参加者数としては前年度より増加している。また、貸館率に関する目標値も達成しており、施設の活性化にも寄与していることは評価に値する。 ・女性の就労支援、性的マイノリティに関する講座など、男女共同参画を推進するための事業に精力的に取り組んでいる。法人としての財務状況も健全であり、指定管理者として評価できる。 ・多様なテーマの講座が開催されているが、あらためて当センターの設置目的に沿った事業となり得ているかなど評価・検証を重ね、現指定管理期間最終年度にあたり、より質の高い事業展開を今後とも進められたい。